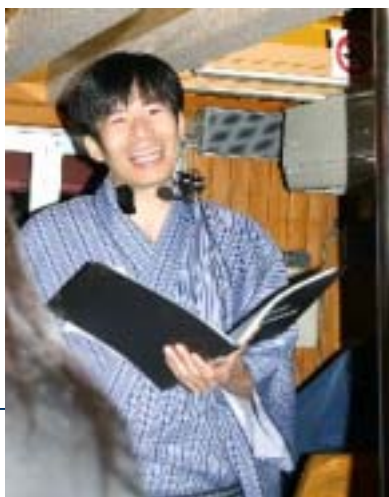


昨年に引き続き、大阪都心の川を周遊する「なにわ探検クルーズ」に乗船してきました。乗船の様子や船から見る大阪のまちなみの様子は、当社ホームページの今・人(いまじん)バックナンバー第18号(2003.12.25発行)をご覧ください。

昨年と今年では

昨年と異なるところは、クリスマスを間近に控えた日程であること、そしてなんとといっても本メルマガのお知らせコーナーでお伝えした道頓堀の新名所「とんぼりリバーウォーク」遊歩道のオープンです。船から眺める遊歩道の風景は、違った表情を感じさせてくれます。

また、落語家の方も昨年とは異なり、今年は人間国宝である桂米朝の弟子の弟子である桂歌々志(かかし)さんに旅先案内役を務めていただきました。



湊町リバープレイスを道頓堀川に西へ出発した船は、堀江あたりでBGMとともにガルウィング状の屋根が一気に開口。



上) ムーディな船内の様子
左) 湊町リバープレイス

左) 道頓堀川水門



遠くに道頓堀川水門が見えてきます。道頓堀川水門は、船舶を船行させる開門機能とともに、水門本来の機能である高潮対策、水位の制御、そして道頓堀川の河川浄化を東横堀川水門とともに担っています。

木津川から堂島川に入り、リーガロイヤルホテルあたりでは、クリスマスイルミネーションによる光が夜の川筋に彩りを与えています。

右) 大阪市役所とライティングされた護岸

大阪市役所周辺では、OSAKA光のルネサンス2004が開催されているため、こちらも色鮮やかな夜景を創造しています。また、護岸に投射した光が、シーズンを演出、そして中央公会堂がライトアップにより幻想的に浮かび上がります。

また、川のところどころに、イルミネーションを施した船が停泊。剣先公園で土佐堀川に入り、淀屋橋でターンをし、東横堀川へと進みます。

高架と建物に包まれたこの空間は、ミクロの決死圏を彷彿とさせます。上大和橋をくぐり、道頓堀川に入ります。



左) 土佐堀川に停泊するイルミネーションを施した船
右) ライトアップされた中央公会堂 (照明デザイン: 石井幹子)



相合橋で再び屋根が開口し、太左衛門橋をくぐって、とんぼりリバーウォークに到着。



この船最大の見所となる遊歩道付近は、これまでと異なり遊歩道を散策する人と間近にコミュニケーションが取れるほど近接。オープン直後であるため、イルミネーション等の演出はされていませんが、今後、行政と地元の協働によって遊歩道を中心として道頓堀界隈を盛り立てていくことが期待されます。



当日、21世紀協会の光の広報船が遊歩道に登場